

ずっと環境。  
変わらないから新しい。



鉄は何度も再生できます。肥料は知恵の結晶です。緑は暮らしをやさしくします。  
地球で生まれたものは、地球にかえす。  
私たちの理念は、循環社会の実現。  
エコロジーやリサイクルが注目される前から環境をみつめてきました。

**私たちは朝日工業です。**

コーポレートマークは

鉄鋼建設資材事業(燃え上がる溶鋼の赤)、農業資材事業(鮮やかな植物の緑)、環境サービス事業(美しい空、水の青)の各事業が、朝日の“A”の文字を中心に、互いに連携し支えあう姿勢を表しています。  
また3つの色は、“太陽”“緑”“地球”でもあり、当社の環境重視の姿勢を示しています。

## Web Information

当社のホームページは「みやすく、役に立つ」をコンセプトに、企業情報や財務情報を始めとし、積極的に情報開示を行っています。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

URL <http://www.asahi-kg.co.jp>



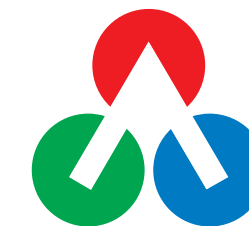
朝日工業株式会社

〒170-6049 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 49階  
TEL 03-3987-2161 FAX 03-3987-5326



本書は、再生紙を使用しております。

ずっと環境。変わらないから新しい。



第17期のご報告

2007年4月1日~2008年3月31日



朝日工業株式会社

## ごあいさつ

株主・投資家のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

当社の事業活動に関しましては、平素より一方ならぬご支援とご高配を賜り、深く感謝いたしております。

ここに第17期のご報告をするに当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

### 第17期（2008年3月期）について

#### 農業資材事業

肥料事業においては、原料価格の高騰を受けて製品価格の値上げを行いました。また、主力製品である有機肥料の販売数量が拡大いたしました。一方、園芸事業ではホームセンターや問屋への、種苗事業ではハウレンソウ、ミニトマト、メロン台木などの販売が拡大したことなどにより、農業資材事業全体では増収増益となりました。

#### 鉄鋼建設資材事業

改正建築基準法の影響により2007年7月以降、製品の販売数量が減少いたしました。また、鉄スクラップや副原料資材の価格高騰に対応すべく製品価格の値上げを強力に推進した結果、増収となりましたが、鉄スクラップ価格上昇が製品販売価格の値上げやコストダウンを上回るペースで進み、収益を圧迫いたしました。

#### 環境サービス事業

環境計量証明・コンサルタント事業を行っております株式会社環境科学コーポレーションにおいては、民間案件への営業展開により売上が増加いたしました。また、廃棄物処理・リサイクル事業を行っております上武エコ・クリーン株式会社では、木くずのパルプ原料化を進めました。このような結果、両社とも収益が大幅に改善いたしました。

#### その他事業

砕石・砕砂事業を行っております上武産業株式会社では、単砕・砕砂の拡販に注力したことから増収となりました。

この結果、当連結会計年度における業績は、売上高51,777百万円、営業利益2,836百万円、経常利益2,650百万円、当期純利益1,525百万円となりました。



代表取締役社長 赤松清茂

### 第18期（2009年3月期）について

#### 農業資材事業

肥料事業においては、有機肥料の生産・販売の拡大に注力するとともに、未利用資源の探索と有機肥料原料化に引き続き取り組んでまいります。園芸事業では、ホームセンターや園芸問屋への新たな販路開拓により売上拡大に取り組んでまいります。種苗事業では、特にトマトを重点品目と位置づけ、食の安全・安心へのニーズに応える病害抵抗性品種、ミニトマトや調理用品種の販売拡大を進めます。

#### 鉄鋼建設資材事業

鉄スクラップ価格高騰が今期も続くとともに、供給ではタイトな状況が更に進むと予想されます。当社では、鉄スクラップの確保、および製品価格の値上げを進め収益確保に努めてまいります。また、ねじ鉄筋、高強度・太径鉄筋など、より付加価値の高い製品の販売拡大を進めます。

#### 環境サービス事業

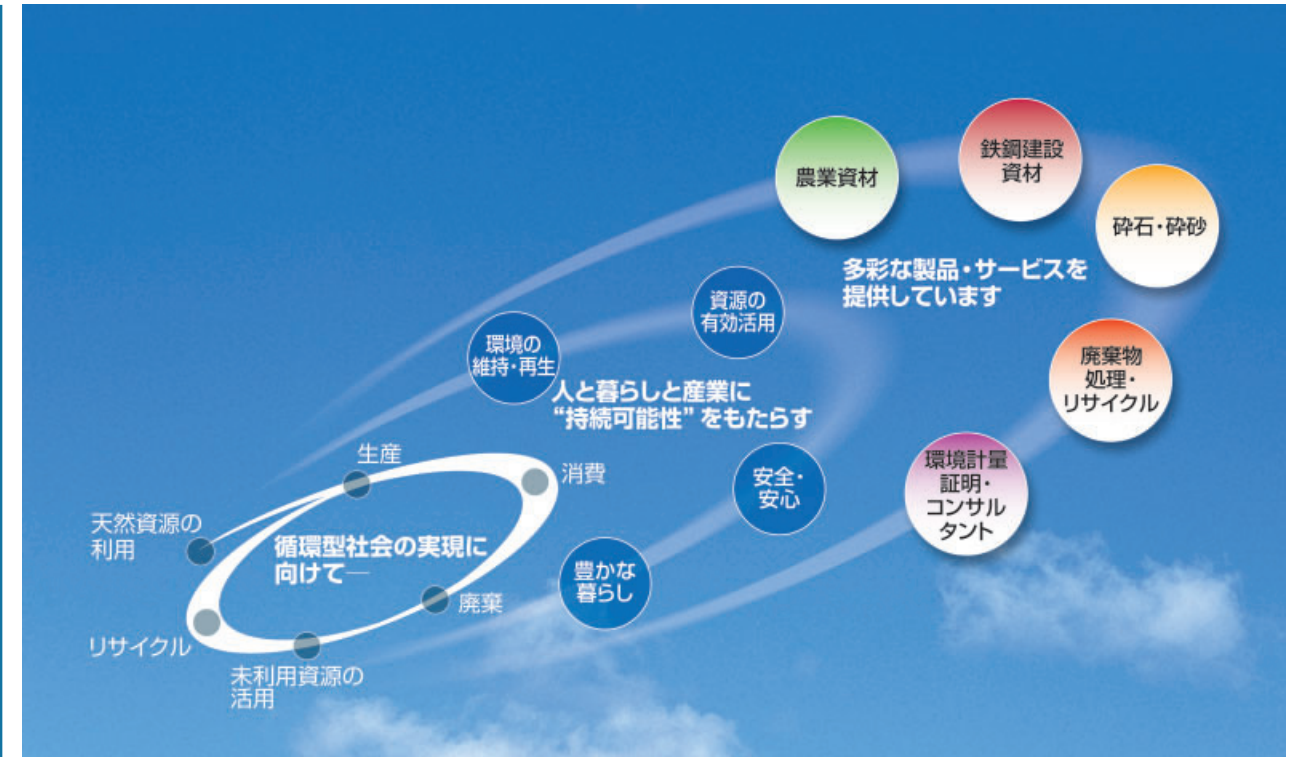
株式会社環境科学コーポレーションでは、民間案件の受注促進を継続するとともに、マーケットが拡大しつつある土壌関連分野に注力してまいります。

以上のような施策を実施すると同時に、当社は、環境・社会・株主のみなさまに対して、気配りのある経営を行ない、先進的環境企業として、皆様からの一層の信頼を得られますよう体質強化を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

朝日工業株式会社  
代表取締役社長 赤松清茂

## “環境”をテーマに、“気配り”の経営を目指します。



“食の安全・安心”に対応した有機肥料や病気に強い野菜種子。生活のインフラを構築する鉄鋼製品や砕石・砕砂。生活に潤いを与える家庭園芸肥料。そして大気や水質などの環境分析や、建設廃材のリサイクル。

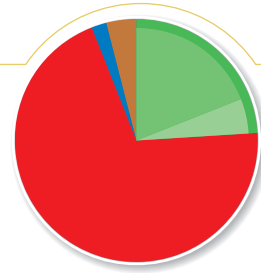
朝日工業グループの事業は私たちの生活を支えると同時に、環境の維持・改善に貢献しています。

また当社グループは、社会、環境、株主様をはじめとした多くの皆様に対して、“気配り”した経営を実践してまいります。

朝日工業グループでは、「環境」を理念に、農業資材、鉄鋼建設資材、環境サービス、その他の4つの事業を展開しています。「資源の循環」と「環境の維持再生」をテーマにグループ全体での事業の拡大を目指しています。

事業セグメント別売上高

■ 農業資材事業	24%	■ 鉄鋼建設資材事業	70%
■ 肥料事業	19%	■ 環境サービス事業	2%
■ 園芸事業	5%	■ 種苗事業	5%
■ 乾牧草事業	5%	■ その他事業	4%



農業資材事業

有機肥料を中心とした肥料、野菜種子の生産・販売、乾牧草の輸入・販売から家庭園芸資材まで安全でおいしい農産物と緑を育むお手伝いをしています。

肥料事業

世界的な農作物需要の増加にともない肥料需要も増大し、肥料原料がひっ迫してきています。当社は、有機肥料を得意としており、特に食品工場などから排出される廃棄物や副産物を活用した有機肥料原料を自社生産していることから、原料を安定的に確保しています。今後とも、国内外の未利用資源の肥料原料化、有機栽培や減化学肥料栽培に適した肥料、農作業の省力化を図れる肥料などの開発に力を入れてまいります。



水産加工場の排水に含まれる魚たんぱく質を利用した有機肥料原料(右上)とその処理設備

園芸事業

農業生産者の方が使用している高品質な有機肥料をご家庭で使いやすい大きさにした肥料などを販売しています。最近では、安全・安心な野菜を作る家庭菜園が注目されています。朝日工業では、トマトやナス、キュウリ用など、各々の作物に適した成分を配合した有機肥料をはじめとして、ビギナーの方からベテランの方まで、ご満足いただけるような品揃えを充実しております。



家庭菜園向け肥料も充実した品揃え

種苗事業

主に農業生産者向けに野菜の種子を販売しています。加熱するとより旨みが増すトマト「シシリアンルージュ」や、ゼリー分が少なくサンドイッチなどに適しているトマト「ビットリオ」、外側が紫で内側がオレンジ色のニンジン「パープルスティック」など、おいしくてちょっと珍しい品種を扱っています。また、農薬の使用量を減らすことができる、病気に強い品種の開発、販売にも力を入れています。



「シシリアンルージュ」(上)と「ビットリオ」(右)



紫ニンジン「パープルスティック」

乾牧草事業

オーストラリアの現地合併会社を中心に、良質な乾牧草を輸入し、国内の酪農家に供給しています。2006



オーストラリアの牧草畑(左)と現地工場に運びこまれる乾牧草



年度、オーストラリアは干ばつに見舞われたことから、牧草の生産量が落ち、2007年度は当社も十分な販売量を確保することができませんでした。今期は、十分な販売量を確保できる見込みです。今後、安定的に乾牧草の量を確保し、コスト低減を図るための施策を行なっていく考えです。

## 鉄鋼建設資材事業

鉄スクラップを原料に、異形棒鋼、構造用鋼、ねじ節鉄筋を生産しています。

### 鉄鋼事業

鉄スクラップを原料に、建築の際の鉄筋として使用される異形棒鋼や、ボルト・ナット・工具・自動車部品などの加工素材となる構造用鋼を生産しています。

当期は、2007年6月に施行された改正建築基準法の影響により、建築着工床面積が減少、異形棒鋼の出荷量にも影響を及ぼしました。また、世界的鉄鋼需要の増加などにより、鉄スクラップ価格が急騰いたしました。

当面はこのような状況が続くことも懸念されることから、当社は、需要に見合った生産に徹すると同時に、コストに見合った製品価格の値上げに努め、収益を確保してまいりたいと考えています。



异形棒鋼はビル等の建築の鉄筋に使われます



構造用鋼(左下)は自動車部品や工具類、ゴルフクラブのアイアンなどに加工されます

### ねじ節鉄筋事業

ねじ節鉄筋は、ねじ状に節をつけた鉄筋同士をカプラーでつなげるものです。従来から行なわれている圧接による鉄筋をつなげる方法に比べ、施工が簡便で、建築工事の安全性と工期短縮を図ることができるため、需要が伸びてきています。朝日工業では販売の拡大に努めた結果、売上高が伸びてまいりました。今後、周辺商品の更なる拡充や営業推進によりシェアの向上に努めてまいります。



需要が拡大しているねじ節鉄筋「ネジエーコン」

## 環境サービス事業

水質・大気等の環境計量証明・コンサルタント事業および建設廃材等のリサイクル事業を行っています。

### 環境計量証明・コンサルタント事業

株式会社環境科学コーポレーションでは、水質や、大気、土壌の調査、分析、生態系の調査などを行なっています。当社は分析に留まらず、コンサルティングやアセスメントなども行なえる技術力を有しております。当期は、民間案件の受注を伸ばし、また、国土交通省発注の調査業務において、技術コンペ方式で案件を受注いたしました。今後は、こうした技術力を活かした案件、また昨今関心が高くなっている環境中の医薬品、農産物の残留農薬などの分野の調査、分析を伸ばしていく考えです。



鳥などの生態系調査も実施

コンクリート用骨材や路盤材に使用される碎石・砕砂の製造、鉄鋼製品の製造請負事業などを展開しています。

### 碎石・砕砂事業

上武産業株式会社では、採取が厳しく制限されている川砂に代わり、埼玉県秩父地区でコンクリートの骨材やアスファルトの合材などに欠かすことのできない碎石、砕砂の製造を行なっています。碎石・砕砂の生産量では、埼玉県内ではトップのシェアを誇ります。資源を有効利用し、高品質な碎石・砕砂を生産するとともに、砕砂の製造工程で発生する副産物を利用した製品の開発も進めています。



製造工程で発生した副産物を活用した防草資材

### 廃棄物処理・リサイクル事業

上武エコ・クリーン株式会社では、アスファルトやコンクリートなどの廃材や、木質系建設廃材や剪定した枝などを収集し、路盤材や木くずチップに加工し、販売しています。当期については、木くずチップの製紙用パルプ原料としての販売が大きく伸びました。また、バイオマス発電などが注目されてきていることから、今後、木くずのバイオエネルギー源としての販路開拓を行なっていく計画です。

木くずチップ(右上)と木くずチップを原料に製造された紙類



## その他事業

### 業務請負・燃料販売事業

株式会社ティ・アンド・アイでは、リサイクル燃料販売で、循環型社会の実現に貢献しています。



楽市・楽座  
URL <http://store.shopping.yahoo.co.jp/tandi/index.html>

また、健康補助食品や地元埼玉県神川町の特産品などをインターネットショップ「楽市・楽座」で販売しています。

## 朝日工業グループフェアを開催

3月14日に東京 パレスホテルにおいて第1回朝日工業グループフェアを開催いたしました。

当日は雨にも関わらず、株主のみならず、750名ものお客さまにご来場いただきました。



フェアでは、朝日工業グループの事業紹介の展示やDVDの放映、当社が種子を販売している野菜を使った料理の試食や、ハーブ、料理、ガーデニングなどの講演、代表取締役社長 赤松清茂の当社グループ紹介、当社取り扱い商品の即売会などを行ないました。アンケートでは、ご来場いただいたお客さまのほとんどが「良かった」とご回答いただき、朝日工業グループについて、ご理解を深めていただけたのではないかと考えています。

## 積極的な環境投資を展開

朝日工業では、事業活動が環境に与える負荷をできる限り低減するために、積極的に環境投資を行なっています。2007年5月に本格稼働を開始した製鋼電炉ダスト処理装置（RHF）により、廃棄物の社内リサイクル率が大幅に上昇、ゼロエミッションを達成いたしました。また、鉄鋼圧延工場の加熱炉は、2010年にエネルギー源を重油類から天然ガスに転換、二酸化炭素排出量を削減する計画です。



二酸化炭素排出量を削減する計画です。

## 朝日神川ギャラリーを開設

鉄鋼と肥料の主力工場がある埼玉事業所の県道沿いの壁に、地元埼玉県神川町の小中学生が描いた板絵を展示、「朝日神川ギャラリー」と命名いたしました。



「朝日神川ギャラリー」には、90×180cmの板にペンキで様々に描かれたこども達の絵40枚が展示され、道行く人たちの目を楽しませています。これらの絵は1年間展示され、来年には新たに募集した絵に掛けかえる予定です。

## 病気に強いトマト品種を発売

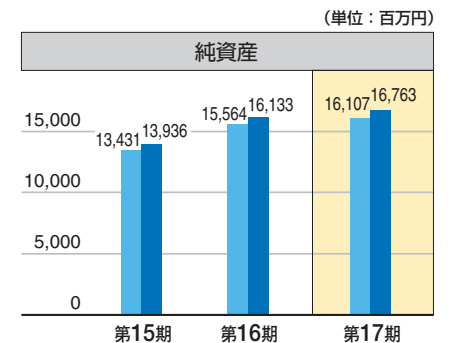
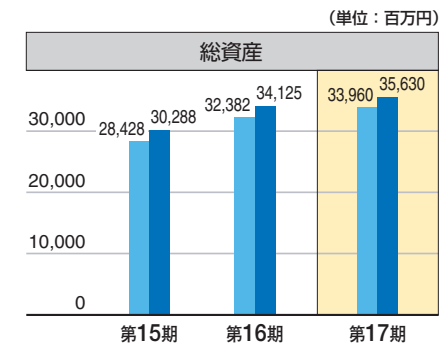
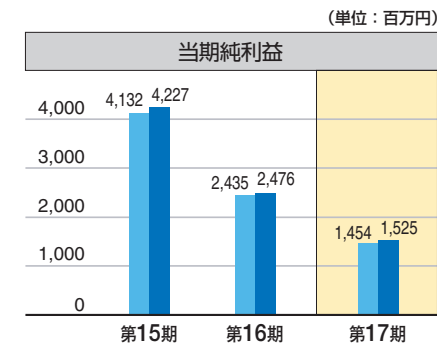
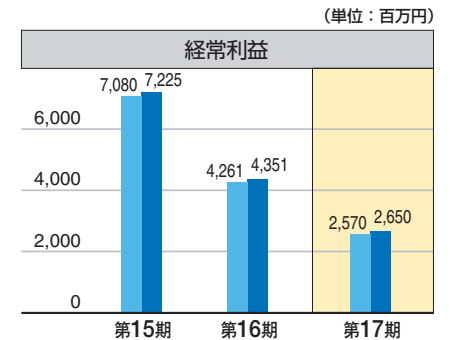
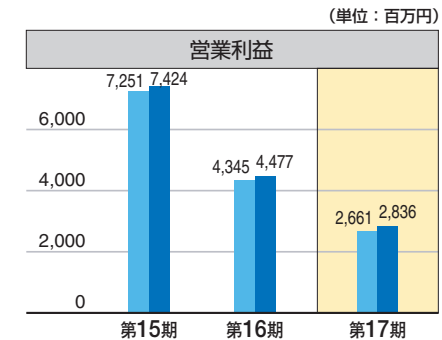
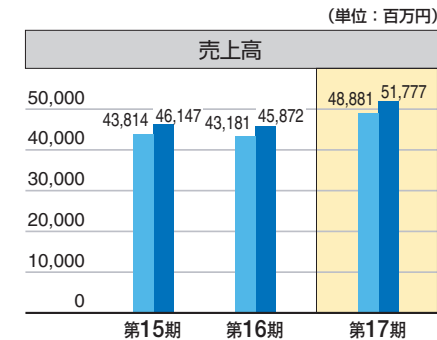
トマト黄化葉巻病は、近年、全国的に被害が広がっているトマトの病気です。この病気は人間には全く無害ですが、トマトで発病すると株全体が黄色くなり、実がなくなってしまう。朝日工業では、他社に先駆け、国内で報告されているトマト黄化葉巻病の2つのタイプの病原菌双方に耐病性のあるミニトマト品種「リトルジェムTY」を発売、大きな反響をいただきました。また、同様の耐病性を持つ大玉トマトの品種も開発。今年度からの販売を予定しております。



## 営業成績および財産の状況の推移

区分	期別	第15期 (2006年3月期)		第16期 (2007年3月期)		第17期 (2008年3月期)	
		単体	連結	単体	連結	単体	連結
売上高 (百万円)		43,814	46,147	43,181	45,872	48,881	51,777
営業利益 (百万円)		7,251	7,424	4,345	4,477	2,661	2,836
経常利益 (百万円)		7,080	7,225	4,261	4,351	2,570	2,650
当期純利益 (百万円)		4,132	4,227	2,435	2,476	1,454	1,525
総資産 (百万円)		28,428	30,288	32,382	34,125	33,960	35,630
純資産 (百万円)		13,431	13,936	15,564	16,133	16,107	16,763
自己資本比率 (%)		47.2	46.0	48.1	47.3	47.4	47.0
1株当たり当期純利益 (円)		62,046.60	63,471.61	33,821.80	34,396.09	20,300.79	21,288.49
1株当たり純資産額 (円)		186,551.06	193,564.54	216,173.39	224,074.59	228,801.09	238,125.08

■ 単体 ■ 連結



連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	当期 (2008年3月31日現在)	前期 (2007年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	19,503,244	19,197,265
現金及び預金	2,534,823	2,928,607
受取手形及び売掛金	8,522,917	9,552,290
たな卸資産	7,899,295	6,217,808
繰延税金資産	258,149	253,110
その他	297,384	254,775
貸倒引当金	△ 9,325	△ 9,326
固定資産	16,127,239	14,920,803
有形固定資産	13,514,617	12,137,783
建物及び構築物	3,100,953	3,005,119
機械装置及び運搬具	6,353,785	4,989,146
土地	2,594,926	2,618,091
その他	1,464,951	1,525,425
無形固定資産	492,242	476,597
投資その他の資産	2,120,379	2,306,423
投資有価証券	1,735,350	1,956,368
その他	391,452	356,782
貸倒引当金	△ 6,424	△ 6,727
繰延資産	—	7,456
資産合計	35,630,484	34,125,525

（単位：千円）

科目	当期 (2008年3月31日現在)	前期 (2007年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	17,160,725	15,745,468
支払手形及び買掛金	9,179,621	9,403,784
短期借入金	2,750,000	790,000
1年以内返済予定の長期借入金	265,300	1,167,718
1年以内償還予定の社債	200,000	80,000
未払法人税等	495,312	744,099
賞与引当金	375,852	426,032
未払金	2,789,864	1,292,518
その他	1,104,775	1,841,315
固定負債	1,706,228	2,246,686
社債	—	200,000
長期借入金	50,000	315,300
繰延税金負債	307,429	457,217
退職給付引当金	1,133,416	1,107,648
役員退職慰労引当金	214,843	165,981
その他	540	540
負債合計	18,866,954	17,992,154
<b>純資産の部</b>		
株主資本	16,444,381	15,576,111
資本金	2,190,000	2,190,000
資本剰余金	1,802,000	1,802,000
利益剰余金	12,684,440	11,584,111
自己株式	△ 232,059	—
評価・換算差額等	319,148	557,258
その他有価証券評価差額金	233,785	488,640
為替換算調整勘定	85,362	68,618
純資産合計	16,763,529	16,133,370
負債純資産合計	35,630,484	34,125,525

連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	当期 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)	前期 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)
売上高	51,777,203	45,872,643
売上原価	41,958,364	34,812,814
売上総利益	9,818,839	11,059,828
販売費及び一般管理費	6,981,851	6,582,057
営業利益	2,836,987	4,477,771
営業外収益	96,478	66,366
営業外費用	283,041	192,431
経常利益	2,650,424	4,351,705
特別利益	15,511	30,542
特別損失	115,317	177,293
税金等調整前当期純利益	2,550,619	4,204,954
法人税、住民税及び事業税	1,036,675	1,602,737
法人税等調整額	△ 11,184	125,697
当期純利益	1,525,128	2,476,518

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	当期 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)	前期 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,337,859	2,485,218
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,805,220	△ 1,399,927
財務活動による キャッシュ・フロー	56,732	△ 1,715,672
現金及び現金同等物に 係る換算差額	16,743	25,700
現金及び現金同等物の 減少額（△）	△ 393,884	△ 604,680
現金及び現金同等物の 期首残高	2,878,587	3,483,268
現金及び現金同等物の 期末残高	2,484,703	2,878,587

連結株主資本等変動計算書

当期（2007年4月1日から2008年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
2007年3月31日 残高	2,190,000	1,802,000	11,584,111	—	15,576,111	488,640	68,618	557,258	16,133,370
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 424,800		△ 424,800				△ 424,800
当期純利益			1,525,128		1,525,128				1,525,128
自己株式の取得				△ 232,059	△ 232,059				△ 232,059
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						△ 254,854	16,743	△ 238,110	△ 238,110
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,100,328	△ 232,059	868,269	△ 254,854	16,743	△ 238,110	630,158
2008年3月31日 残高	2,190,000	1,802,000	12,684,440	△ 232,059	16,444,381	233,785	85,362	319,148	16,763,529

## 単体貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	当期 (2008年3月31日現在)	前期 (2007年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	19,503,194	19,165,583
現金及び預金	2,004,919	2,424,722
受取手形及び売掛金	7,370,445	8,433,985
たな卸資産	7,807,833	6,149,736
その他	2,321,476	2,158,839
貸倒引当金	△ 1,480	△ 1,700
固定資産	14,456,855	13,209,070
有形固定資産	11,776,788	10,407,363
機械装置	5,912,159	4,630,716
その他	5,864,628	5,776,646
無形固定資産	420,302	376,656
投資その他の資産	2,259,765	2,425,051
投資有価証券	1,538,852	1,712,063
その他	724,368	716,863
貸倒引当金	△ 3,456	△ 3,876
繰延資産	—	7,456
資産合計	33,960,050	32,382,110

（単位：千円）

科目	当期 (2008年3月31日現在)	前期 (2007年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	16,555,716	14,941,598
支払手形及び買掛金	8,796,655	9,007,702
短期借入金	3,001,800	1,802,320
未払法人税等	468,639	731,925
未払金	2,780,619	1,288,049
その他	1,508,002	2,111,600
固定負債	1,297,194	1,876,028
社債	—	200,000
長期借入金	50,000	301,800
その他	1,247,194	1,374,228
負債合計	17,852,911	16,817,626
<b>純資産の部</b>		
株主資本	15,879,707	15,082,197
資本金	2,190,000	2,190,000
資本剰余金	1,802,000	1,802,000
資本準備金	1,802,000	1,802,000
利益剰余金	12,119,766	11,090,197
利益準備金	52,603	52,603
その他利益剰余金	12,067,163	11,037,594
自己株式	△ 232,059	—
評価・換算差額等	227,432	482,286
その他有価証券評価差額金	227,432	482,286
純資産合計	16,107,139	15,564,483
負債純資産合計	33,960,050	32,382,110

## 単体損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	当期 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)	前期 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)
売上高	48,881,502	43,181,792
売上原価	40,291,138	33,159,328
売上総利益	8,590,364	10,022,463
販売費及び一般管理費	5,928,599	5,677,090
営業利益	2,661,765	4,345,373
営業外収益	123,695	87,239
営業外費用	214,896	171,210
経常利益	2,570,563	4,261,402
特別利益	7,752	29,785
特別損失	94,542	174,023
税引前当期純利益	2,483,773	4,117,164
法人税、住民税及び事業税	999,000	1,578,380
法人税等調整額	30,404	103,614
当期純利益	1,454,368	2,435,169

## 単体株主資本等変動計算書（要旨）

当期（2007年4月1日から2008年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		
	資本金	資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計
2007年3月31日 残高	2,190,000	1,802,000	1,802,000	52,603	11,037,594	11,090,197	—	15,082,197	482,286	482,286
事業年度中の変動額										
固定資産圧縮積立金の取崩し					—	—		—		—
特別償却準備金の取崩し					—	—		—		—
剰余金の配当					△ 424,800	△ 424,800		△ 424,800		△ 424,800
当期純利益					1,454,368	1,454,368		1,454,368		1,454,368
自己株式の取得							△ 232,059	△ 232,059		△ 232,059
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）									△ 254,854	△ 254,854
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	1,029,568	1,029,568	△ 232,059	797,509	△ 254,854	△ 254,854
2008年3月31日 残高	2,190,000	1,802,000	1,802,000	52,603	12,067,163	12,119,766	△ 232,059	15,879,707	227,432	227,432

## 会社概要 (2008年3月31日現在)

- 商号 朝日工業株式会社
- 所在地 〒170-6049  
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号  
サンシャイン60 49階
- 創立 1935年8月16日
- 設立 1991年10月29日
- 資本金 2,190百万円
- 従業員数 395名(グループ521名)

### ●事業所

- 本社 〒170-6049  
東京都豊島区東池袋3-1-1  
サンシャイン60 49F  
TEL (03) 3987-2161
- 埼玉事業所 〒367-0394  
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
TEL (0274) 52-2711
- 埼玉工場(鉄鋼) 〒367-0394  
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
TEL (0274) 52-2713
- 関東工場(肥料) 〒367-0394  
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
TEL (0274) 52-2712
- 千葉工場(肥料) 〒289-0506  
千葉県旭市さくら台1-13  
TEL (0479) 68-1600
- 大阪事業所(肥料) 〒530-0047  
大阪府大阪市北区西天満1-2-5  
大阪JAビル  
TEL (06) 6311-6215
- 関西工場(肥料) 〒528-0005  
滋賀県甲賀市水口町水口6776  
TEL (0748) 62-8171
- 生物学研究所 〒367-0394  
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
TEL (0274) 52-6339
- 農業相談室 〒367-0394  
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
TEL (0274) 52-6462



埼玉事業所



千葉工場



関西工場

### ●取締役および監査役 (2008年6月25日現在)

- |         |      |       |      |
|---------|------|-------|------|
| 代表取締役社長 | 赤松清茂 | 取締役   | 寺井淳  |
| 常務取締役   | 佐藤邦彦 | 取締役   | 広瀬清  |
| 常務取締役   | 中村紀之 | 常勤監査役 | 近藤憲二 |
| 常務取締役   | 町田尚輝 | 常勤監査役 | 鈴木幸夫 |
| 常務取締役   | 有村正史 | 監査役   | 村田恒  |
| 取締役     | 飯島功  | 監査役   | 阿部進  |
| 取締役     | 大畠秀嗣 |       |      |

### ●子会社

- 上武産業株式会社  
〒369-1601  
埼玉県秩父郡皆野町大字金沢3092-1  
TEL (0494) 62-1321
- 上武エコ・クリーン株式会社  
〒369-1623  
埼玉県秩父郡皆野町大字大淵126-2  
TEL (0494) 62-0522
- 株式会社ティ・アンド・アイ  
〒367-0301  
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
TEL (0274) 52-6411
- 株式会社環境科学コーポレーション  
〒170-0013  
東京都豊島区東池袋3-23-13  
池袋KSビル  
TEL (03) 3987-2182
- ASAHI INDUSTRIES AUSTRALIA PTY. LTD.  
A.C.N. 070 911 036  
C/O PRICEWATERHOUSECOOPERS  
FRESHWATER PLACE, 2 SOUTHBANK BLVD.  
SOUTHBANK, VIC 3006, AUSTRALIA  
TEL (03) 8603-1000

## 株式の状況 (2008年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 240,000株
- 発行済株式の総数(自己株式1,602株を含む) 72,000株
- 株主数 3,783名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
阪和興業株式会社	6,000株	8.5%
三井物産株式会社	6,000	8.5
伊藤忠商事株式会社	3,000	4.3
コープケミカル株式会社	3,000	4.3
株式会社メタルワン	3,000	4.3
アサガミ株式会社	2,951	4.2
農林中央金庫	2,100	3.0
日本マタイ株式会社	1,810	2.6
伊藤忠丸紅テクノスチール株式会社	1,800	2.6
カネヒラ鉄鋼株式会社	1,800	2.6

(注) 議決権比率については、自己株式(1,602株)を控除して計算しております。  
議決権比率については、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

### 株主優待制度のご案内

毎年3月31日現在の株主様に対してはお米券  
(1枚440円相当)を送付させていただきます。

1株	4枚
2株	8枚
3~4株	12枚
5株以上	16枚



### ご注意ください! 株券の電子化が実施されます。

2009年1月より、株券の電子化が実施される予定です。お手元に株券をお持ちの場合、本人以外の名義になっていると、実施後、株主としての権利(株式の売却、配当金の受け取りなど)を失う恐れがありますので、証券会社または株主名簿管理人により株券の名義書換をさせていただきますよう、お願いいたします。

### 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日
- 公告の方法 電子公告により下記当社ホームページに掲載いたします。  
<http://www.asahi-kg.co.jp>  
ただし事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株式の名義書換
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社 本店
- 同事務取扱所 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-78-2031  
(フリーダイヤル)
- 同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

### お知らせ

- 住所変更、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。
- フリーダイヤル 0120-87-2031  
(24時間受付・自動音声案内)
- ホームページ  
[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)